米国税理士(EA)講座説明会動画配信中!

http://www.tac-school.co.jp/tacchannel/kouza.php?id=1040 合格体験記はこちら

http://www.tac-school.co.jp/kouza ea/ea taikenki.html

EA対策コース はじめに



当コースは、『U.S.CPA 学習経験者』を対象とし、効率よくEA試験合格を目指していただくためのコースです。

≪当コースに含まれる教材≫

下記3点の教材が含まれています。

- ① GLEIM教材 ※コンピュータオンライン演習ソフトを含む。
- ②「厳選問題要点ノート」(当パワーポイント資料)
- ③「全問日本語ポイント解説」(補助レジュメ)

※TACのU.S.CPA本科生コースご受講の方でU.S.CPA試験用の最新教材の入手を希望される場合は、U.S.CPA5年間継続再受講制度(教室・ビデオ講座¥3,000)をご活用ください。

≪税法数値等について≫

EA試験では、一部の数値を正確に覚えていることが要求されます。 (但し、選択肢より、推測が可能な問題もあります。)

2013年5月1日~2014年2月28日までの試験期間は、

2012年度申告の数値での出題となります。

※重要数値等の改定表はハピララより無料ダウンロード可能。

EA試験概要

EA試験は、3つの科目(Part)から構成されています。

試験科目(Part)	出題内容(講義回数)	2011~2012 合格率
Part 1:Individuals	<u>連邦個人所得税および連邦贈与税・</u> 相続税が出題される。 (講義2回)	75%~85% 程度
Part 2:Businesses	連邦税において <u>事業に関連する税法</u> が出題される。 (講義3回)	55%~60% 程度
Part 3:Representation, Practice, and Procedures	税務代理業務および諸手続きが出題される。(講義1回)	80%~90% 程度

各科目<u>3.5時間</u>のコンピュータ試験となり、各科目100問の四択問題が出題されます。1問あたりの解答時間は2分程度が目安となります。問題の難易度に応じて得点数が異なり、採点の対象とはならない問題も一部含まれています。

※ 試験終了時すぐに試験結果がわかります(スコア105~130が合格)。

2年間有効な科目合格制度があり、どの科目から受験・合格しても構いませんが、 Part1⇒2⇒3の順序で学習・受験することをお勧めします。

学習の流れ【Point #1】

問題ランク分け

TACでは、GLEIMテキスト問題集に掲載されている問題について、下表の3つにランク分けしています。効率よく演習を進めてください。

A ランク	U.S.CPA試験内容と重複する基本的な問題 ※一部、FAR(財務会計)・BEC(管理会計)・REG(ビジネス法) の内容を含む。
B ランク	EA試験特有の上級論点(細かい論点)を含む問題
Cランク	合否には影響が少ない余力がある方向けの問題 ※チャレンジ問題または細かすぎる暗記が要求される問題 をCランクとしています。

学習の流れ【Point #2】

合格までの流れ

3つのパート(科目)に共通する内容

① 講義にて"厳選問題"

② 残りの問題演習

③ ランダム100問 (模擬試験)

短期合格

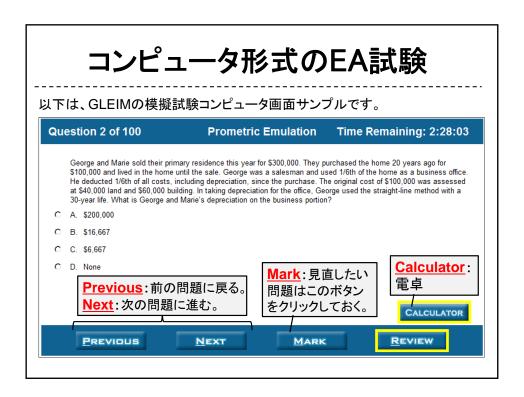
講義にて、<mark>主にA及びBランクの厳選問題とその要点</mark>を 当パワーポイント資料を用いて解説します。

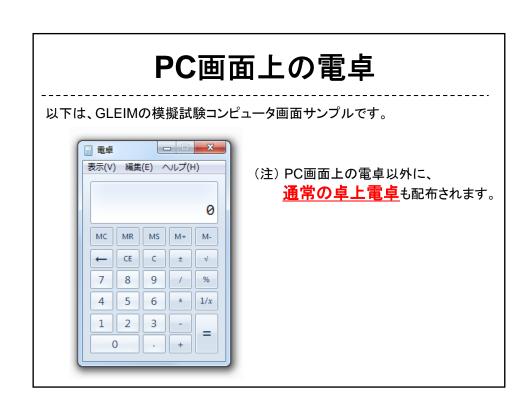
※講義で演習する厳選問題には、補助レジュメ「全問ポイント日本語解説」内に★マークを付けてあります。

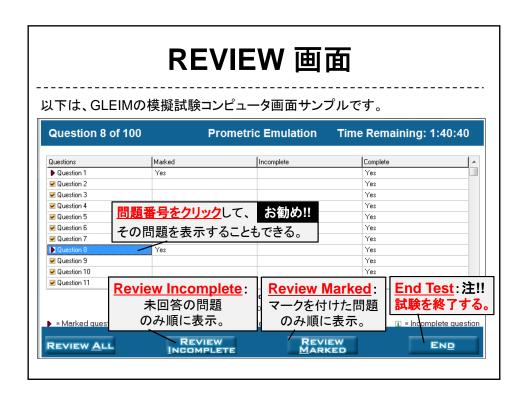
講義で扱わなかったGLEIMテキスト問題集の残りの問題を中心に、補助レジュメの「全間ポイント日本語解説」を見ながら効率的に演習を行って下さい。

GLEIMは<u>問題集での75%以上の正答率を合格レベル</u>と しています。A及びBランクのみで十分合格が可能です。

GLEIMオンラインにログインし、Test Prep Onlineにアクセス⇒Create a Practice Exam(Create One Now!)をクリック⇒Select Allをクリックし全Unitを選択後、画面下のNextをクリック⇒抽出基準等を選択⇒問題数を100問に設定し、Finishをクリック⇒PC画面上でランダム100問演習(模擬試験)にチャレンジしてください。







USCPA試験のTAXとの違い

EA試験の出題範囲は、

USCPA試験のTAXと

学習項目は<u>重複</u>している。

但し、EA試験では、USCPA試験よりも、

深く細かい税法知識が要求される。

税金を課すIRSが出題者であること。

(注)EA試験のPart 3は、他のパートと比べ、 学習項目の重複度合いが低いといえる。